

平成23年12月14日

報道機関各位

公益財団法人ヤマト福祉財団

相馬港内航フィーダーコンテナ航路再開について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第二次助成先の一つである相馬港で、助成金1億3百万円を活用し、東日本大震災後、寄港を休止していた内航フィーダーコンテナ航路が再開されます。このことにより、東京港・横浜港経由による輸出入が可能となり、物流の選択肢が広がります。

航路が再開されることで、県内はもとより、南東北の物流拠点港湾として、企業の生産活動の回復を支え、被災地の本格的な復旧・復興に貢献できるようになると考えております。

なお、今回の荷役はヤマト福祉財団の助成金により整備・修理した代替クレーン及びリーチスタッカー、スプレッダーを使用して行われます。

まだまだ被災地の復興は途上にあります。福島、そして東北の産業再生への歩みとなる今回の取組みを、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 入港予定日時 平成23年12月17日（土）午後2時
（なお、当日の海象条件等によっては、予定が変更となる場合があります。）
2. 入港船 井本商運㈱「神若（かみわか）」、総トン数：749 t
3. 接岸場所 1－3バース（別紙地図参照）
4. 積載貨物 実入りコンテナ 40フィート 3本（金属機械工業品）
空コンテナ 40フィート 8本
5. 当日の行事（コンテナ船が入港しだい、開始いたします）
 - （1）福島県相馬港湾建設事務所 所長 山内正臣様よりご挨拶
 - （2）相馬市よりコンテナ船「神若」船長へ花束贈呈

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）



※「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。資金を提供するだけでなく、事業を進めていく過程も含め、いろいろな人がかかわる、復興モデルのシンボリック的存在を目指しています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。

